

特集

訪問看護ステーション ならではの事業多角化 地域密着のニーズにいかに応えたか

訪問看護ステーションとしてその地域に根付いていく中で
聞こえてきた「こうだったら、もっといいのに!」。あるいは、
自分の中に湧き上がってきた「もっとこういうことがしてみたい!」。
そんな思いに真摯に向き合い、
新たな事業へと一歩踏み出した人たちがいます。
本特集では、そんな“地域密着の事業多角化”に着目し、
そのきっかけから手応え、そして運営の壁の乗り越え方まで
根掘り葉掘り伺いました。

在宅看護センター結の学校

看護小規模多機能型居宅介護事業所

●沼崎美津子（南東北福島訪問看護ステーション結）

療養通所always

療養通所介護事業

●橋口倫宏（ブリッジ訪問看護ステーション）

オリーブ守山保育園

企業主導型保育事業

●角野めぐみ（訪問看護ステーションオリーブ）

グループホームいきいき東豊中

認知症対応型共同生活介護

●勝真久美子（なな一訪問看護ステーション）

※一部変更となることがあります。

編集後記

今回は6月初旬に行った公開座談会の内容をベースとした特集です。公開座談会にご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。
▶自宅で療養している陽性者への訪問看護。入院待機者への医療とケア。「まだ限られた人しか体験していない」点からすれば、藤田さんは特異な経験を語ってくださったことになります。ただ、私には不思議と普遍的な何かか滲んでいるようにも感じられました。なぜなのでしょう。特異な状況下での実践に光を当てようとすると、平時での実践が照らし返され、浮き上がってくるからなのかもしれません。▶特集内では、非常事態への備えとして「BCP策定」の必要性が述べられています。期せずして、今号からBCP策定をテーマとした連載もスタート。そちらもぜひご覧いただければ。……小池

公開座談会は、藤田さんからの
お声掛けにより、急遽、開催と掲載を決断したものでした。医療の手が届かず苦しむ方が今後少しでも減らせるよう、また、これを次に体験するかもしれない全国の同士の糧にと、つらい経験をも心身の疲れが癒えぬうちから実践的な振り返りとして語ってくださった藤田さんに心から感謝申し上げます。また、臨床の最前線にいる専門家の皆さまに向けた雑誌の果たすべき仕事とは何か、初心に帰った思いがしました。……米沢

訪問看護と介護 第26巻 第8号（通巻302号） 2021年8月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2021, Printed in Japan

1部定価：1,650円（本体1,500円＋税10%）

販売・PR部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaiga

医学書院ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*『訪問看護と介護』は株式会社医学書院の登録商標です。